

クラス番号	608	担当教員名	中 村 強 士
テーマ	現代社会における保育・子育て支援を考える		
著書・論文	【著書】 『戦後保育政策のあゆみと保育のゆくえ』（単著）新読書社、2009 年 『保育ソーシャルワークの世界―理論と実践―』（共著）晃洋書房、2014 年 『貧困と保育』（共著）かもがわ出版、2016 年 『子どもの貧困対策と教育支援』（共著）、明石書店、2017 年		
研究課題等	【研究課題】 1. 保育・子育て支援政策のあり方に関する研究 2. 保育者・学童保育指導員の専門性（特に調査と実践記録）に関する研究 3. 「乳幼児期の子どもの貧困」と保育ソーシャルワークに関する研究		

ゼミナール概要

キーワード：保育問題、子育て支援、子どもの貧困、子どもの権利

問題意識：

共働き家庭やひとり親家庭が増加する現代社会において、保育所は必要不可欠です。ところが都市部では待機児童が増加し、保育水準の低い認可外保育所もその受け皿となっています。待機児童をなくすためにはどうしたらよいのか。保育所や保育士の不足はなぜ生じているのか。保育所新設にあたってなぜ地域住民が反対するのか。

その一方で、保育所は地域の子育て支援拠点としての役割を担っています。保育所はどのように地域子育てを支援しているのか。子育てを支援するということはどういうことなのか。子育て支援は保育所だけでなく保健所や児童館、子育て広場など広範囲にわたって取り組まれています。これらの違いや課題は何でしょうか。

「子どもの貧困」が問題視されている他方で、子どもの権利が児童福祉法に規定されました。子どもの最善の利益を保障するために、子どもとその家族にどんな保育や子育て支援が必要なのでしょう。

- 目的：**
- ①保育・子育て支援に関する専門性を身につけること
 - ②仲間との共同作業を通じて自分を知り、仲間とともに成長すること
 - ③社会人として必要な、＜問題認識→課題発見→解決方法の考察＞のプロセスを経験すること

計画（内容・方法等）：

- 3年次前期：①興味・関心にもとづいたグループごとで事前学習（研究活動）を進めます。
②グループが順番に研究発表を行います。
③半田市子育て支援センターでボランティアをし、子育てとその支援の現実を学びます。
④第51回全国保育団体合同研究集会（保育合研）の実行委員会に順番に参加します。

夏休み：①保育合研に参加します（8/3・4・5・愛知県名古屋市内）。

- ②保育合研の参加レポートを作成し『レポート集』を完成させます。

後期：SW実習後、卒論計画書を作成し添削指導を受けます。

春休み：卒論を書き始めます（先行研究の分析・考察）。

- 4年次前期：卒論前半（先行研究部分）を終了し、インタビュー調査を実施します。

夏休み：卒業論文を完成させます（就活・実習・受験勉強・バイトなどとの両立！）。

後期：ゼミ内で卒論発表会を行い、提出後に専修ごとの卒論発表会に備えます。

※社会福祉士国家試験に合格したいゼミ生を対象に「自主ゼミ」をひらきます。

※ゼミ生の希望のもと、施設見学・フィールドワークや、コンパ・バーベキュー・パーティーを実施します。

担当教員からのメッセージ



私は、保育・子育て支援、学童保育、放課後等デイサービス、児童館、子ども食堂などを中心としたフィールドにかかわり、研究・実践活動を行っています。

ゼミではゼミ生一人ひとりの自主性・主体性を求めています。〇〇を学びたい、〇〇へ見学に行きたい、〇〇をみんなで食べたいなど、積極的に提案する学生を期待しています。

本ゼミを希望する学生は「エントリーシート」に、①本ゼミを希望する理由、②目指す将来像、③趣味・特技、④自己アピール、の以上4点を記入してください。